

# 中部教育学会第62回大会 プログラム

日時：2013年6月29日（土）

会場：富山大学人間発達科学部／理学部

後援：富山県教育委員会、富山市教育委員会

## 【アクセス】

- ①市内電車：JR 富山駅前の電停「富山駅前」から「大学前」行きに乗車（ほぼ10分間隔で運行、所要時間約15分、料金200円）、終点「大学前」で下車し、電車の進行方向に向かって道路左側を徒歩で約200メートル進むと、左手に大学正門があります。
  - ②バス（地铁バス）：JR 富山駅前バスターミナル3番乗場から「小杉駅」、「高岡駅」、「新湊車庫」、「新港東口」、「北代循環」、「富大附属病院循環」行きのいずれかに乗車（所要時間約15分、料金230円）、バス停「富山大学前」で下車。
- \*市内電車、バスの運行時刻につきましては、(株)富山地方鉄道のHP (<http://www.chitetsu.co.jp/>) をご覧ください。
- \*大学構内の駐車場もご利用いただけますが、駐車台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。構内での事故等には責任を負いかねますので、くれぐれもご注意下さい。

## 【日程】

- 9:00～ 受付（人間発達科学部 正面玄関）
- 9:30～12:00 自由研究発表（人間発達科学部 第1校舎1階 講義室）
- 12:00～13:00 昼食（大学生協の食堂をご利用いただけます）  
理事会（人間発達科学部 第1校舎2階 中会議室）
- 13:00～13:50 総会（理学部 2号館2階 多目的ホール）  
公開シンポジウム打合せ（人間発達科学部 第1校舎2階 中会議室）
- 14:10～16:45 公開シンポジウム（理学部 2号館2階 多目的ホール）
- 17:00～18:30 懇親会（大学正門横 カフェ AZAMI）

\*大会参加費（会員・一般：1,000円、学部学生：500円。公開シンポジウムのみ的一般参加は無料）  
懇親会費（会員・一般：3,000円、大学院生・学部学生：2,000円）

\*会員控室は人間発達科学部115・116講義室、事務局室は小会議室（2階）です。

中部教育学会第62回大会実行委員会

委員長 廣瀬信

事務局長 野平慎二

事務局 笹田茂樹、久保田真功、長谷川春生、仲嶺政光、藤田公仁子

〒930-8555 富山市五福3190 富山大学人間発達科学部内

TEL/FAX：(076) 445-6361（直通） E-mail：chubu62@gmail.com

## 《午前部》 9:30~12:00 自由研究発表

- 【第1分科会】(人間発達科学部 112 講義室) 司会 安達仁美(信州大学) 佐藤年明(三重大学)
- 9:30~ 9:55 1947年度版『学習指導要領一般編(試案)』の制定過程の検討—戦後初期の「教育課程」概念に着目して— 川野優(名古屋大学学部生)
- 9:55~10:20 日本の道徳教育における言説の検討—「道徳は教えられるか」の問い— 高口涼(静岡大学院生)
- 10:20~10:45 内モンゴルにおける近代学校の創設と展開—守正武学堂を中心に— 宝金華(名古屋大学院生)
- 10:45~11:10 「生きる力」論批判—成立過程を中心に— 佐藤年明(三重大学)
- 11:10~11:35 幼稚園と保育所の連携に関する研究—岐阜県瑞浪市における先駆的取り組みを中心に— 塚本貴子(桜花学園大学)
- 11:35~12:00 全体討論

- 【第2分科会】(人間発達科学部 113 講義室) 司会 山崎保寿(静岡大学) 森透(福井大学)
- 9:30~ 9:55 教師のキャリア発達と力量形成に関する研究—西尾市小中学校長のインタビュー調査— 安井克彦(名古屋学芸大学)
- 9:55~10:20 授業力を高める指導のあり方—教職大学院における試み— 鈴木健二(愛知教育大学)
- 10:20~10:45 「学校実習」長期化と学生の成長(3) 中妻雅彦(愛知教育大学)
- 10:45~11:10 「指導が不適切な教員」の現職教育に関する調査研究—「公立学校の教職員の現職教育等の状況」から— 服部晃(岐阜女子大学)
- 11:10~11:35 福井大学における教育実践研究と教師教育改革 森透(福井大学)
- 11:35~12:00 全体討論

- 【第3分科会】(人間発達科学部 114 講義室) 司会 柴田好章(名古屋大学) 長谷川春生(富山大学)
- 9:30~ 9:55 教科間における学習の転移を促す条件に関する—考察—理科「光の反射」と数学「最短距離」の作図を通して— 〇橋本美彦(中部大学)  
石井俊行(奈良教育大学)
- 9:55~10:20 量の連続的可変性に基づく測定単元の指導原理 中島淑子(名古屋大学院生)
- 10:20~10:45 子どもの予想外な発言への教師の対応に関する研究 付洪雪(名古屋大学院生)
- 10:45~11:20 中間項を用いた授業分析における解釈の明示化 〇柴田好章(名古屋大学)  
〇中島淑子(名古屋大学院生)  
〇須田昂宏(名古屋大学院生)  
〇埜寄志保(名古屋大学院生)  
〇付洪雪(名古屋大学院生)  
〇丹下悠史(名古屋大学院生)
- 11:20~11:50 全体討論

【第4分科会】(人間発達科学部 117 講義室) 司会 丸山真名美(至学館大学) 藤田公仁子(富山大学)

9:30~ 9:55 中高生は学校行事に何を望んでいるか?—調査方法と意義を中心に—  
玉木博章(無所属)

9:55~10:20 戦後における少年少女雑誌(娯楽雑誌)の発刊と廃刊  
田中卓也(共栄大学)

10:20~10:45 保育現場が求める保育実践力の形成段階—保育者養成教育に期待する専門性の萌芽  
とは—  
上村晶(高田短期大学)

10:45~11:20 子どもの育ちを支援するプログラムの構築・運用に関する研究(2)—ベルリンに  
おける子どもを中心とした取り組み—  
○百々康治(至学館大学)  
○浅野敬子(至学館大学)  
○丸山真名美(至学館大学)

11:20~11:50 全体討論

【第5分科会】(人間発達科学部 111 講義室) 司会 伊藤博美(名古屋経済大学) 久保田真功(富山大学)

9:30~ 9:55 自立を育てる教育実践の意味に関する—考察—小幡肇学級(奈良女子大学附属小学  
校)の卒業生へのインタビューを通して—  
劉妍(三重大学院生)

9:55~10:20 しつけ本における言説に関する—考察—  
伊藤博美(名古屋経済大学)

10:20~10:45 中国における中国人日本語教師のライフヒストリー—コーホートによる実践的力量  
形成の相違に着目して—  
○康鳳麗(鈴鹿医療科学大学)  
森脇健夫(三重大学)  
坂本勝信(常葉大学)

10:45~11:20 「篠岡百話 2012」地域たんけんカルタづくり—子どもの社会参画を支援する地域+  
学校+専門家の取り組み—  
○原愛樹(名古屋大学)  
後藤明史(名古屋大学)

11:20~11:45 デジタルストーリーテリングによる自分語り—ケータイ写真を利用した実践例—  
武市久美(東海学園大学)

11:45~12:00 全体討論

\*研究発表の時間は、個人発表の場合は【報告 20 分+質疑応答 5 分】です。共同研究発表の場合は【報  
告 30 分+質疑応答 5 分】または【報告 20 分+質疑応答 5 分】です。

\*発表にあたり、プロジェクタ等の機器を利用される場合には、当日早めにご来場の上、動作確認をお願  
いします。なお、設備の関係上、一部の講義室ではプロジェクタではなく大型テレビのご利用となりま  
す。ご了承ください。

\*発表資料を利用される場合には、各位で 25 部程度ご準備ください。

\*発表の取り止めが生じた場合でも、発表時間の繰り上げはいたしません。

\*各分科会で最後に全体討論がありますので、発表者は、自分の分科会の会場から離れないようお願いし  
ます。

## 《午後の部》

13:00～13:50 総会（理学部 2号館2階 多目的ホール）

14:10～16:45 公開シンポジウム（理学部 2号館2階 多目的ホール）

## 「子どもたちを真ん中にした学校づくり」

欧米では、1970年代以降、子ども・保護者の学校参加の法制化が進み、1989年の子どもの権利条約の成立以後、学校運営に子どもが参加し、役割と責任を担う動きが広まりました。教職員だけで学校運営が行われてきた我が国でも、学校評議員制度(2000年)や学校運営協議会制度(2004年)など、父母や地域住民の参加で、学校運営を「開かれた」ものに転換しようという動きが生まれてきました。父母や地域住民の参加に加えて、児童・生徒や教職員が参加して学校運営をすすめる「参加と共同」の学校づくりも1990年代半ば以降、全国に広がってきています。

富山市立奥田北小学校で、2008年度から始められた学校づくりの取り組みは、小学校における「子どもを真ん中にした」取り組みとして全国的に見ても注目し値すると思われ、今回のシンポジウムで取り上げさせていただきました。この取り組みは、まず、学校評価アンケートで保護者や子どもの要望を集め、公開していくことからスタートしています。次に、子ども・保護者（PTA・地域）・教師の三者（後に、学校評議員を加えた四者）の懇談の場として「学校づくり会議」を設置しますが、それに先行して、子ども主体の取り組みを進めるため、子どもたちが「話し合い」「決定する」場としての児童総会を実施します。子どもフェスティバルの開催など、子どもから要求が出てきて、具体化が検討されます。いじめの問題などについても話し合われていきます。学校づくり会議に参加している人以外にも取り組みを広げたいという子どもの要求から、「親子相談会」が生まれ、身近なテーマによる話し合いも始まりました。

シンポジウムでは、最初に、前中部教育学会会長で、名古屋大学教育学部の植田健男教授に、学校づくりをめぐる全国的動向について基調報告をしていただきます。その後、奥田北小学校の取り組みの概要をご報告いただいた上、当時の校長先生と児童会長に順次ご発言いただき、議論を深めていく予定です。

14:10～15:10 基調報告 「教育課程づくりを軸とした学校づくり」

植田 健男（前中部教育学会会長、名古屋大学）

15:15～16:45 富山市立奥田北小学校における学校づくりの取り組み

取り組みの概要（30分）

中村 弘之（当時奥田北小学校教諭・現西田地方小学校教諭）

発言

金枝 仁治（当時奥田北小学校長・現呉羽中学校長）

沼田 直実（当時奥田北小学校児童会長）

コーディネータ

植田 健男（前中部教育学会会長、名古屋大学）

司会 笹田 茂樹（富山大学）

17:00～18:30 懇親会（大学正門横 カフェ AZAMI）